

国保税 来年度は据え置き

藤倉議員「国に1兆円の財政投入の要求を」

来年度の国保税について、予算等特別委員会で藤倉泰治議員が「昨年都道府県化になったが、来年度本市の国保税の税率はどうか」と質問。当局は「来年度は見直しを行わない」と答えました。

しかし、安倍政権による国保運営の都道府県化になって、岩手県が定める標準保険料は陸前高田市の場合、県内トップ水準。全国的にも、1世帯当たり4万円、5万円の引き上げが予想されています。藤倉議員は、「このままでは本市も大変になる。協会けんぽ等の社会保険と同水準の負担とするため、全国知事会と同様に国に1兆円の財政投入を要請すべきではないか」と質問。戸羽市長は、「来年度は何とか国保基金の取り崩しで対応したが、基金も多くはない。見直しが大きな課題となるが、他市町村とともに国に財政支援を求めていく」感を示しました。

唐桑高田道路 10k が開通

唐桑小原木 IC で式典



式典を終え、長部 IC までのパレードに拍手を送る大坪議員—21日・小原木 IC で—

子ども医療費助成が大きく改善

医療費無料化（立替制）

高校生にも対象拡大（これまで中学生まで）

現物給付（窓口払いゼロ）

今年8月から

小学生に対象拡大（これまで未就学児まで）

大坪涼子議員が一般質問で、子育て支援を取り上げましたが、「所得制限をなくす」「医療費助成を高校生等にも拡大」と答弁。さらに、「現物給付は今年8月から小学生も対象。800人が新たに対象になる」と答えました。

◎所得制限もなくなります

住宅リフォーム助成事業

対象工事費

「50万円以上」から

「30万円以上」を検討

伊勢純議員は、新年度も予算額1千3百万円となっている住まいのリフォーム支援事業について質問。現在の対象工事50万円以上の引き下げを求めました。戸羽市長は、「大変好評な事業だが、50万円以上の工事はかなり大きいので、30万円に引き下げる検討を始めている」と、改善の方向を示しました。

この事業は昨年度実績では54件、1,485万円分が商品券で支給されています。

東日本大震災津波 8年のつどい

日時 3月24日（日）

午後1時～4時

会場 シーパル大船渡

（大船渡市民体育館向い）

◎8年間をふりかえり、「いま」と「これから」を考えましょう。

●来賓挨拶：木戸口英司参院議員

●国会報告：高橋千鶴子衆院議員

●シンポジウム：自営業者、自治会役員など

主催：東日本大震災津波救援・復興
岩手県民会議